

① 高田南土地区画整理事業について

令和6年度末の工事完了に向けて高田南土地区画整理事業の宅地造成が進められています。工事完了を前に宅地造成の盛土部分と切土部分について質問します

(1) 高田中学校と浦上水源池の間の谷の盛土について

- (イ) 盛り土の最大の高さはどの程度になるか。
- (ロ) 昨年熱海の土砂災害が起き、盛土の安全性が見直されている。高田南土地区画整理事業の盛土の安全性の確保はどうか。
- (ハ) 盛土規制法上の責任の所在は誰にあるか。
- (ニ) 元々あった谷の上流より高く盛られた所があり、不自然な形状となっていて、大雨時に冠水が起きないか心配されるが大丈夫なのか。
- (ホ) 土砂崩れや地盤沈下のことを考えると盛土の高さが大きくなるのは好ましくないと考えるが、盛土の高さは適切であるのか。

(2) 切土部分について

- (イ) 地盤が土の宅地と岩盤の宅地があると思われるが、それぞれ何宅地ぐらいあるか。
- (ロ) 地盤が岩盤である宅地は土の宅地に比べて、家を建てる時により多くのお金がかかる。基礎工事、配管工事、車庫のコンクリート工事など表面の岩盤を掘削する必要があるからです。また、庭に植木を植えたり家庭菜園を楽しむためには、岩盤を掘削し真砂土と入れ替える必要もあります。地権者にお返しする宅地としては不適切ではないかと考えるが、何か対応策はあるか。

② 防災無線について

近年の異常気象により、防災情報の伝達の重要性がますます高まっていると感じます。必要な情報を必要な人に必要なタイミングで届けるために、本町の防災無線を中心とした防災情報の伝達のあり方について質問します。

- (1) 防災無線は住んでいる家の周りの環境で聞こえ方が違うと思われるが、防災無線が聞こえづらい世帯や耳が不自由な方への対応はどのように行なっているか。
- (2) 防災情報の発信媒体として、防災無線、防災無線メール、yahoo 防災速報アプリ、長与町自治体アプリ、LINE ミックンなど多数あり、選択肢が増えて便利になった一方、複雑になってしまっていると感じる。それぞれの情報伝達の媒体の特徴を切り分けて、推奨する使用環境を設定する考えはないか。
- (3) 熱中症警戒アラートが毎日のように発表され、防災無線による放送、yahoo 防災速報アプリ、LINE ミックンで注意喚起がなされている。毎日の放送で慣れてしまい、住民の警戒する意識の低下が懸念される。予想最高気温や湿度など、熱中症の危険度がわかるような要素も含めて情報発信するなどの工夫が必要と感じるがどうか。